

# 住民の生命・財産切り捨てる消防出張所の廃止は許せない



## 大宮消防出張所京都市が廃止計画



写真は、現在の大宮消防出張所の外観

京都市の考え方を伝えたところ、人員削減の自治体リストが唯一の目的ではないでしょうか。しかも、対象となる消防職員は、住民の生命や財産を災害から守る第一の仕事に従事しています。

熊本・大分



### なぜ？住民の生命・財産に直結する消防出張所を廃止

上京消防署幹部は、「財政を健全化させるため、職員(人件費)の削減が至上命題であり、市長部局だけではなく消防局も例外ではない。」と同規模の人口を持つ政令指定都市の福岡市、広島市や神戸市と比べても、京都市の一六七〇人は約二〇〇人ほど消防職員が多いので、所在する学区である桃園自治連合会の總會の場で、

西陣地域にある上京消防署大宮消防出張所(上京区大宮通今出川上ル)を、早ければ二〇一八年度に廃止する方針を決めたことが地元紙に報道される。関係も学区にお住まいのみならず、心配の音が寄せられています。

背景には、「はばだけ未来へ! 京プラン(京都市基本計画)」に基づいて、人員費抑制政策があることが明らかです。

### 根っこは一つ 背景に大リストラ政策



京都市は、老朽化・狭隘・大宮通の幅や一方通行などの条件に加え、想定三分以内で緊急車両が駆けつけられる一、五㎞以内に、上京消防署のほか、紙屋川・大徳寺・室町(現在整備中)の四消防署(出張所)が、あり検討対象となつたと言っています。

しかし、西陣地域は、古い木造家屋や入り組んだ路地が多く、火災の際に犠牲になる率が圧倒的に高い。高層の方も多くお住まいの地域です。三分の間に拡大するかもしれない人命を含む甚大な被害は、やむを得ないとしても言うのでしようか。

また、現在大宮出張所では、身長以下一五名の職員が交替制勤務で業務に当たっているというが、二〇〇名の職員が多いという論議がまかり通るなら、消防体制の弱体化は他の地域や行政区にも広がるでしよう。

こんな乱暴な切り捨ては、断じて許すことができません。

### 大宮出張所・西陣地域だけの問題か



を襲つた大地震では、自治体の職員があまりにも少なく、対応に支障が出たことが報道されています。ましてや、消防職員は消火、防災、人命救助のプロフェッショナルです。そして、地域の消防団や関係者とともに、町の安全を守る大切な役割を果たしています。

### ◎トップランナー方式とは

総務省が2016年度から新たに導入した、地方交付金の算定方式。歳出の効率化を推進する観点から、歳出効率化に向けた業務改革で他団体のモデルとなるようなものを地方交付税の基準財政需要額の算定に反映する。単位費用に計上されている全ての業務についてトップランナー方式の検討対象とするとしている。

対象業務には、消防のほか、下水道、小中高等学校、生活保護などの福祉、清掃など23の住民の暮らしに直結する業務が上げられている。



大宮消防出張所の担当は、成道・西陣・桃屋・鞍馬・高瀬・正親の4学区

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぶ

**しんぶん 赤旗**

日刊●月 3497円  
日曜版●月 823円

# 上京民報

2016年6月 発行  
発行:日本共産党京都  
北地区委員会  
電話:432-3261  
FAX:441-4968